

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名** グループホーム 百

日付 平成19年9月6日  
特定非営利活動法人

**評価機関名** ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 在宅介護経験13年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

## 1. 評価結果の概要

### 講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

もう寝たきりに近い重度の人を、車椅子で外に連れ出して外気に触れさせてあげていた。毎日朝か昼食前に必ず庭に出て、太陽の光を受け、風を感じ、人の気配等に接するようにしている。寝たきりになると放置される傾向があるが、これらの外気を五感によって脳に情報を送り、刺激を与えることは人間にとって重要なことであり、これを普通にケアの中に取り入れていることは素晴らしいことである。

500mlのペットボトルでバットを作り、ボールをテーブル上で数人が輪になって打ち合うというゲームというか運動をしていた。仲間に入れてもらって一緒にしたが、本気になって打ち合うという激しいもので、楽しいながらも結構な運動量であった。誰かに勝ちたいという意気込みを持ってお互いに競技するということは、これこそその人の生きがいということだろう。

男性と話をすると、自分のしてきた仕事をしっかりと話してくれた。元気の時にしてきた事を人に伝えることができることは、自分らしく生きてきた事を誇りに実感できることだろう。

若くしてアルツハイマー病になってしまった女性も、自分からは会話を投げかけることはできないが、その人の気持ちを引き出すきっかけをなげかけると、細い声であるが自分の人生をしっかりと話してくれた。自分の気持ちを分かってくれたという心地良さから満足にコミュニケーションできたという実感を持ってくれたに違いない。

他の人も同じようなコミュニケーションをしてくれたが、皆それぞれの人々の顔が晴々してきたような表情となった。人間誰しも、自分の心の中を人に伝えられ、それを理解してくれるという心の交流は最高のコミュニケーションだと思う。

これらは、日頃の生き活きとした職員の表情があるからである。職員は、利用者一人ひとりの心身の状態を十分に把握し、それぞれに応じた対応を日常の行為で自然にできるようになったと思う。日頃の管理者・職員が一つひとつの職務を全うしていることは、ホームの舞台に利用者の明るい表情とゆったりとした生活が実現できている。「他の施設より、一人の人間として扱っていただいている」との嬉しい家族の言葉が物語っている。

特に改善の余地があると思われる点

ホームのサービスの向上、ケアの向上に対する改善はこれで良いという限界はない。現在していることをベースに、一つひとつ地道にゆっくりと確実にこなしていくことに職員一同頑張ってもらいたい。そのためには、理念にしても、計画にしても、介護項目にしても、できるだけ具体的な言葉で、客観的な目標値で表現し、その結果をしっかりと評価するような習慣付けに努めてもらいたいと願っている。

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 運営推進会議を通じて、理念を地域の人々にも理解してもらい、ホームの地域への取り組み方を浸透していけるよう、今後更に改善していこうと考えている。理念はホームの考え方を示すものであり、利用者や家族が地域で安心して暮らす糧となるものである。</p> <p>2. 全体的に見て…: 「今は楽しく、本人との会話をしながら、希望に沿えるよう利用者に向き合っている」「不愉快な思いをすることのないように」を常に心がけて管理者・職員が利用者に向き合い、その人がどのように生きようとしているかを常に問い続けている。</p> <p>利用者や職員の姿を見ていると、利用者や家族に対する職員たちの表情や行動から、この心意気を感じることができた。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 特に注目する改善についてはないが、改善しようとする内容を見ると、何事においても問題点の原因をきちんと把握して、根本の問題を解決して、全体を良くしていくという考え方が見ることができた。</p> <p>2. 全体的に見て…: リビングルームや居室は普通の建物であり、これと言って特長のあるものではないが、ハード面、そして職員が利用者を支えている活き活きた行動から何とも言いえない暖かさそれぞれの信頼感、安心しきって生活している風を感じることができた。そして利用者同士の親近感があり、落ち着いている場所となっている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 利用者のホームでの生活をする上での一人ひとりの人間としての本質にもっと近づき、利用者と同じ目線で見つめ、その人の人格を大切にしながら、もっと能力を高めていこうとする職員の気持ちを感じることができた。これは職員一人ひとりの資質にも大いに関係するが、そこらを勉強しようとする意気込みを感じることができた。</p> <p>2. 全体を通して…: 午前中はリハビリを兼ねて体操やゲームを楽しんでいる。重度の利用者には外気浴や声かけ等を日課として支援している。一人ひとりにしっかり向き合い、それぞれに必要な手を差し伸べている。リハビリも大事に思い、その人の生活を大切に思っている。その為だろうが隣のおばちゃん同士といった感じで利用者同士話しかけて、お互いに認め合っているようで見ていて微笑ましい。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…: 地域との交流をもっと広めていこうとする意欲を見ることができた。運営推進会議の機会を通じて地域との関係も出来つつあるようであるが、住民の方との密接な関係ができる、利用者も生活にもっとはりが出てくるであろう。</p> <p>2. 全体を通して…: 運営推進会議を有効に機能させていき、行政の人が果たす役割、家族のすべき役割、ボランティアや地域の人々に助けてもらうこと、地域の人々にもお願いする事など、管理者・職員が日頃から地道な行動が必要となるだろう。これらは職員でよく話し合い、どのように仕事を進めていくかによって、その波及効果が出てくるものと思うので、努力を期待したい。立地的に住宅地と離れているので、日常の交流の難しさはあるので、普通の付き合いとは違った方法も考えねばならないだろう。</p>		